

承合事項 平成 30 年度の図書館活動について

提出大学名：広島大学

## 1. 教育支援

### ・学習環境

中央図書館の開館時間を延長 授業期平日 24 時まで (4/9～)

中央図書館 24 時間開館試行 (1/28～2/8)

西図書館に語学自習室を開設 (4/2～)

### ・ライティングセンター (学習支援)

学生院生チューター (20 名) によるライティング相談 日本語 825 件、英語 216 件

### ・情報リテラシー教育

利用講習会 90 回

新入生必修授業の「大学教育入門」において「図書館の使い方と資料の収集」の講義を担当

## 2. 研究支援

### ・ライティングセンター (研究支援)

教員及びフェローによる英語論文作成相談 182 件

外部講師及びフェローによるセミナー 10 回

### ・学術情報リポジトリ

オープンアクセス方針の説明会 3 回、コンテンツ登録件数 2662 件

### ・大学出版会

査読前審査件数 4 件、刊行点数 1 点

### ・電子ジャーナル・データベース

講習会 35 回

## 3. 社会貢献

### ・展示・イベント

オープンキャンパス 学生サポーター書庫ツアー (8/21～8/22)

全国大学ビブリオバトル 2018 (広島地区予選・決戦)

ホームカミングデー企画展示「広報誌から見る広島大学図書館の歴史」 (11/2～18)

『明治 150 年』関連企画展示「明治の教育と教科書」 (12/25～1/23)

### ・公共図書館連携

東広島市立図書館資料の貸出返却を開始 (4/10～)

2018 Hiroshima Active Library 協働事業に伴う企画展示 (12/1～7)

会場：霞図書館 東千田図書館

平成 30 年度広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会 (12/2)

広島市立図書館交換研修 受入 (2/1) 参加 (2/27)

## 4. 管理運営

### ・資料保存対策

### ・冷凍庫による低温殺虫試験 62 冊

### ・霞図書館書庫に除湿器を設置 (8/1～)

提出大学名：尾道市立大学

### 1. 教育支援

- a) 「英語多読コーナー」の充実および授業との連携（担当教員が同コーナーの図書を使う課題を出し、学生が館外貸出により使用）。
- b) マンガコーナーの充実（約 2,000 冊）。
- c) 視聴覚資料の充実（主に DVD・Blu-ray ソフト：約 400 点）。
- d) 利用ガイダンスの実施（1 年生の基礎ゼミ単位）。
- e) 定期的に展示コーナーの資料を入れ替え、図書館の利用促進を計る。
- f) 各学科教員選定の基本図書、各研究科教員選定の大学院用図書の整備。
- g) 司書および司書教諭資格取得のための通信教育説明会を、近畿大学通信教育部のご担当の方にご来学いただき開催（2016 年度より毎年 1 回 8 月上旬、90 分間）。
- h) 利用者用の情報端末を新機種に更新し、2 台追加設置（計 12 台）。
- i) OPAC 機能に BOOK データ ASP サービスを追加。

### 2. 研究支援

- a) リポジトリ登録の推進。
- b) 電子ジャーナル・データベースの活用促進（日経テレコン 21 など）。
- c) 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の活用促進。

### 3. 社会貢献

- a) 学外者への開放（閲覧・貸出・「高橋玄洋記念室」の公開）。
- b) 共同リポジトリでの学内成果物の web 公開。
- c) 共同リポジトリでの貴重資料（下垣内文庫）の web 公開。
- d) 公共図書館との相互貸借などの連携。
- e) 近隣の県立高校生のインターンシップ受入（3 名：8 月下旬～9 月上旬の 2 日間）。
- f) 市内中学生の職場体験学習受入（1 名：8 月下旬の 1 日間）。

### 4. 管理運営

- a) 広報紙「図書館の風」の学内電子掲示板での配信及び図書館ホームページへの掲載。
- b) 学生アルバイトの活用（授業期間のみ・平日 16:30～20:15、土曜日 8:30～17:15）。

提出大学名：県立広島大学

### 1. 教育支援

- ・ ディスカバリーサービスの導入。
- ・ ラーニングcommons, 貸出用ノートパソコン等の Web 予約を開始。
- ・ 新入生オリエンテーション, 初年度授業「大学基礎セミナー」の一環として, 図書館利用に関するガイダンスを実施。
- ・ プレゼンテーション, グループワーク, 電子書籍の基礎講座を, 広島キャンパスラーニングcommonsで実施。
- ・ ゾーニングの推進, グループ学修用スペースの拡大。
- ・ 学科推薦図書, 教員推薦図書, コースカタログ掲載参考文献等のコーナー整備。
- ・ 学生による現物選書, ビブリオバトル, 脱出ゲーム等を実施。
- ・ ラーニングcommonsにおける学修支援アドバイザーによる支援活動。(庄原, 三原キャンパス)

### 2. 研究支援

- ・ 学術情報リポジトリ運営。

### 3. 社会貢献

- ・ 中学生職場体験への対応。(広島, 庄原キャンパス)
- ・ 「全国高校生ビブリオバトル 2018 中国大会」共催。(広島キャンパス)
- ・ 市内中学生, 高校生, 地域ボランティアグループを対象とする館内見学ツアーを実施。(広島キャンパス, 庄原キャンパス)
- ・ 看護教員養成講習会の受講者(26名)を対象に図書館ガイダンスを実施。(三原キャンパス)
- ・ 館内「イートインコーナー」において, 地域の飲食店により出張販売を実施。(庄原キャンパス)
- ・ 学内附属機関「宮島学センター」との連携展示「“描かれた”宮島」「宮島の切手と写真-昭和の記憶を辿る-」を実施。(広島キャンパス)
- ・ 「2018 Hiroshima Active Library 協同事業」の一環として, スポーツをテーマとした図書等を展示。(広島キャンパス)

### 4. 管理運営

- ・ 一部を除く図書館業務を, 全キャンパスにおいて民間委託。
- ・ 図書館システム, ブックディテクションの更新。
- ・ 自動貸出返却機の設置。
- ・ 図書に IC タグを貼付し, 閲覧貸出管理をバーコードから IC タグに移行。
- ・ 図書館利用アンケートを実施。

## 1. 教育支援

- a) LA (ライブラリーアシスタント) 導入にともなう開館時間の改正
  - ・臨時試行していた 20 時までの開館を正式な開館時間とするため規定を改正した
- b) ガイダンス
  - ・新入生オリエンテーション
  - ・授業での図書館ガイダンス 基礎演習 1 年生前期 416 名 (全学部)、  
発展演習 2 年生前期 80 名 (国際学部)、  
学術情報の進め方 大学院生前期 2 名 (国際学研究科)
- c) いちだい知のトライアスロン事業の実施
  - ・図書 50 点、映画 25 点、美術展覧会 15 点を含む計 120 点を走破した「知の鉄人」が 1 名誕生
- d) いちだい知のトライアスロン事業
  - ・民間映画館で出張講座を開催、その他映画・美術展等関連展示実施
- e) ブックハンティング
  - ・大型書店において学生による選書を実施
- f) 本の福袋
  - ・年始に司書、学生及び教員がセレクトしたテーマ別の福袋を作成、貸出
- g) 電子ブック
  - ・Maruzen e-Book Library 試読サービスの実施

## 2. 研究支援

- a) 学術情報リポジトリ
  - ・コンテンツ数 28 件増 (累積 1,545 件)

## 3. 社会貢献

- a) イベント
  - ・広島国際映画祭 2018 関連トークイベント開催  
語り手：西崎智子氏(広島フィルムコミッション) 佐藤武氏 (広島市映像文化ライブラリー)
  - ・ビブリオバトル@広島市立大学の実施
- b) 公共図書館との連携
  - ・広島市立図書館、県立図書館との図書の相互貸借・情報交換実施
  - ・Hiroshima Active Library に参加～「T O K Y O オリンピック 2020 1964 1940」展示
- c) キャンパス見学等の受入
  - ・県内・県外の高校のキャンパス見学を受入
  - ・近隣中学校からの職場体験受入

## 4. 管理運営

- a) 広報等
  - ・ツイッターでの展示情報、新着図書情報等の配信
  - ・附属図書館報「知恵の樹」発行 (年 1 回)
- b) 除籍本の有償譲渡
  - ・除籍本を教員→学生の順に有償譲渡後、リユース市 (大学祭初日開催) にて一般市民に販売

## 1. 教育支援

- ・ 学生向けガイダンスのカリキュラム化（都市経営学部 1 年次で必修）
- ・ 個別ガイダンスをアラカルト方式で実施
- ・ ガイダンスに iPad を導入し、一人 1 台配付して検索実習を実施
- ・ 選書ツアーのほか、購読雑誌及び視聴覚資料の選定アンケートを実施し、蔵書の選定に学生が参画
- ・ ビブリオバトルを実施
- ・ ノート PC の貸出サービスの実施
- ・ 長期休業期間中の特別貸出（期間・冊数増）
- ・ レファレンス協同データベース事業に参加
- ・ グループ学習室に電子黒板及び可動式什器を設置
- ・ 企画展示の実施（保育教材等の授業成果物・選書ツアー展示・資格試験関連の展示等）
- ・ 新着図書表紙コピーのポスター掲示（学食、学内各所を週替わりで巡回掲示）
- ・ オープンキャンパスでの企画及び展示の実施
- ・ 学内他部署（教育支援センター、キャリアデザインセンター）への図書資料の貸出
- ・ 図書館広報紙「mee 図」を学内掲示し、学生ポータル及び図書館サイトに掲載
- ・ ILL のオンライン申込みを導入
- ・ OPAC に、テーマ別図書リストを公開
- ・ OPAC に、図書資料データへのタグ付け機能（個人・公開）を実装

## 2. 研究支援

- ・ 契約データベースの講習会を開催
- ・ 共同リポジトリへの紀要論文の登録及び DOI の付与
- ・ 紀要刊行への参画（編集委員として）
- ・ 広島県立図書館との相互貸借、インターネット予約
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供
- ・ 利用状況及び教員の意向調査をもとにデータベースの入れ替えを実施

## 3. 社会貢献

- ・ 一般開放（閲覧、貸出、施設利用）
- ・ 近隣団体、高等学校、特別支援学校、大学附属幼稚園、海外からの見学受入
- ・ 学内で開催された国際学会期間中、会場付近で関連する図書資料を展示
- ・ 市図書館主催の図書館大賞企画に参画

## 4. 管理運営

- ・ 夜間開館（平日 21 時まで）及び、カウンター業務補助の学生アルバイトを雇用
- ・ 夜間開館時に、防災センターの警備員による巡回監視を実施
- ・ 学内諸部門と連携した多メディアによる情報発信（図書館サイト、Twitter、学生ポータル、学内掲示板、学内デジタルサイネージ、学生食堂掲示板等）
- ・ カウンター内部に非常通報装置を設置
- ・ 新着図書展示用書架の設置
- ・ 蔵書点検を実施
- ・ 館内でのふた付き飲料の摂取を許可
- ・ 館内の無線 LAN 機器の更新
- ・ 入口付近に防犯カメラを設置
- ・ 閉館 5 分前に BGM を放送
- ・ 書架に蔵書検索用タブレットを設置
- ・ 災害等の際の臨時閉館措置を規定

#### 1. 教育支援

- ・ 2013 (H. 25) 年度から 3 年計画でシステム化に取り掛かったが、途中で図書館の一部を建替えるため中断したこともあり、まだ完成には至っていない。
- 一応、今年度で完成させる予定である。
- 利用者にとって使いやすいシステムになるよう取り組み中である。
- ・ 学生への OPAC 利用ガイダンスを、要望に応じて随時開催している。

#### 2. 研究支援

- ・ 図書館が研究紀要の事務局を担っている。
- ・ 大学院生奨学金制度として、学習支援アシスタント(作業部門)院生を採用している。
- ・ 図書館内での授業実施申出に応じている。

#### 3. 社会貢献

- ・ 館長が許可をした高等学校等の授業のために、主に音楽関係資料の館内利用を認めている。

#### 4. 管理運営

- ・ 書庫の空調設備改修工事を行った。
- ・ 閲覧室で WiFi を使えるように環境を整えた。
- ・ 閲覧室に電動集密書架の追加設置申請をしている。

### 1. 教育支援

- ・講習会の実施（21回 参加者約 750 人余）  
  新生オリエンテーション内で図書館ガイダンスを実施（全員参加）
- ・展示会の実施（10回）
- ・ブックハンティングの実施（1回、学生 5 名参加）
- ・データベース新規導入（Medical Finder）
- ・購入希望図書の Web 申請開始（院生専用）
- ・図書館の隣にラーニングcommons「SAKURA COMMONS」（約 61.5 m<sup>2</sup>）開設

### 2. 研究支援

- ・紀要第 19 巻刊行
- ・リポジトリ登録（9 件）
- ・平成 30 年度購入希望 視聴覚資料アンケート実施
- ・平成 31 年度購入希望 学術雑誌アンケート実施

### 3. 社会貢献

- ・看護職等対象文献検索講習会の実施（2回、参加者 23 名）
- ・中学生の職場体験受入（1回、2 名）
- ・オープンキャンパス、大学祭で「オープンライブラリー」実施（4回）

### 4. 管理運営

- ・図書館システム保守
- ・電動書庫定期保守点検
- ・電動ブラインド修理
- ・壁面書架耐震工事
- ・視聴覚コーナーのヘッドホン更新
- ・試験期間中、閲覧机机上パネル、荷物収納ボックスの設置
- ・蔵書点検（図書館、研究室）
- ・資料等の配置換え、視聴覚資料の点検（約 1,300 点）
- ・除籍（図書 945 冊、視聴覚資料 106 点）
- ・日赤広島看護大ブックケアプロジェクト（古本募金）の実施

### 1. 教育支援

- ・ 自習用パソコンの更新 (Chromebook) (補正予算)
- ・ 7 月 開館館時間の延長 19 : 00⇒19 : 30
- ・ 美文字教室の実施
- ・ 学生による学習サポーター
- ・ 新規データベースの導入 (メディカルオンライン)
- ・ ブックハンティングの実施
- ・ ビブリオバトル開催
- ・ ガイダンスの実施
  - 初年次セミナーでの利用案内
  - 電子ジャーナル、データベース利用指導
- ・ 授業「世界と日本 A」において、三島由紀夫文庫をラーニングコモンズで紹介

### 2. 研究支援

- ・ 電子ジャーナル、データベース、電子書籍の購入
- ・ 紀要 (大学と短大) の編集と送付
- ・ リポジトリ (HARP) へコンテンツ登録 81 件
- ・ 個人研究費および学科経費用図書・雑誌、科研用図書の発注・受入・貸出

### 3. 社会貢献

- ・ 広島県立広島北特別支援学校 作業学習の受入 1 年生 2 名 3 日間
- ・ 比治山女子中学校職場体験 2 年生 4 名 1 日
- ・ 比治山祭への参加 テーマ「鳥」近隣の子どもたちが大勢来館 約 1,200 名
- ・ Hiroshima Active Library 事業に参加 テーマ「スポーツ」

### 4. 管理運営

- ・ OPAC 用の PC を Chromebox に交換
- ・ 蔵書検索による紛失本など除籍の実施
- ・ 倉庫の資料の整理と移動
- ・ 空きコマを利用しての学生アルバイトによる業務補助の実施 (後期)
- ・ 図書落下防止テープを一部設置 今後、継続実施予定
- ・ 古本募金 4,000 冊送付 約 120,000 円が寄付金として振り込みとなる

## 1. 教育支援

1. ブックハンティングの実施（2回：6月、11月）
2. ビブリオバトルの実施（10月）
2. ガイダンスの実施
  - ・図書館ガイダンス  
(入門ゼミ対象：実施時間90分 54回実施 受講者700名(受講率91.7%))
  - ・文献ガイダンス(専門ゼミ対象：15回実施 163名)
  - ・留学生・院生対象ガイダンス(随時)
3. 貸出用ノートPC(25台)を新機種に更新

## 2. 研究支援

1. 電子ジャーナル、e-book、データベース等の整備  
日本運動具新報、Diamond ハーバート・ビジネス・レビュー 1976-2016、  
Financial Times historical archive 2011-2016、The making of the modern world III  
学鑑 他
2. 機関リポジトリ  
コンテンツ登録数 42件(紀要論文のみ)

## 3. 社会貢献

1. 一般公開(登録制)：学外者の利用可(無料)
2. 中学生の職場体験受入：祇園中学校 3年生 8名(2日間)
3. 展示会 印刷博物館主催「天文学と印刷」10/20-1/20に「天球の回転について」他計11点の稀観本を出品
4. あさみなみ区民大学 D.学びと文化・交流を育てるコース 第6回講義に講師派遣(館長)  
広島経済大学明德館7階 プレゼンテーションコート(10/12:10時~12時受講者52名)
5. Hiroshima Active Library 協働事業への参加(特別展示：期間12/3~12/28)

## 4. 管理運営

1. 平成30年度10月より、学外利用者の方には、ネームホルダー(GUEST)をかけてご利用いただくこととした。

提出大学名：広島工業大学

#### 1. 教育支援

- ① 「帯ワングランプリ」の開催：応募者は夏季休業期間等に読書したものの「帯」を製作し、入賞作品の選考・表彰等を行う。＜読書習慣・学習基礎力・コミュニケーション能力等の向上＞
- ② 期末試験対応のための自習室の利用時間延長及び休日開館：前期・後期における学生の試験勉強への便宜を図るため、自習室の土曜日の利用時間延長及び休日の開館を行っている。＜学習意欲の向上＞
- ③ 学生による図書選書「ブックハンティング」：学生の視点で選書した図書の購入、配架により学修支援環境を充実させる。＜学修支援環境の充実＞

#### 2. 研究支援

- ① 研究図書の充実：各学科への購入図書調査の実施及び共同教育・研究委員会での審議等
- ② リポジトリ登録申請
- ③ 研究紀要の編集・発刊等

#### 3. 社会貢献

- ① 広島アクティブライブラリー共同事業

#### 4. 管理運営

- ① 通常（従前）の運営管理

## 1. 教育支援

### ①サービス

- ・開館時間の延長（試験期間中のみ 22：00 まで【東広島本館・呉分館】）
- ・日曜祝祭日の開館（試験期間中のみ 10：00～17：00 まで【東広島本館・呉分館】）
- ・学生図書委員、教員によるブックハンティング（年 2 回）※同時に館長カフェも行っている。

### ②ガイダンス・講習会

- ・電子ジャーナル、電子データベース、書籍検索などの利用講習会をゼミ単位で行っている。

### ③イベント

- ・数ヶ月単位でその時々の旬のテーマで特設コーナーを設けている。

## 2. 研究支援

- ・特筆すべきものはありません。

## 3. 社会貢献

- ・こども図書館を開催（呉分館・広島分館）
- ・地元中学校の職場体験（インターンシップ）を受け入れている【呉分館 2 名】

## 4. 管理運営

- ・図書館報の発刊（年 2 回）

提出大学名：広島国際学院大学

## 1. 教育支援

### 1) 学習支援

- ① 教員に講義に関連した専門図書、教養図書を依頼し、選定図書コーナーに配架した。
- ② 英語担当教員から推薦を受け、英語多読本を購入した。なお、図書館から英語担当教員に指導の参考として半期ごとに資料別貸出統計を提供している。
- ③ 「聞蔵Ⅱビジュアル」短期アクセス貸出を授業等で使用した。(4回、20日)

### 2) 利用促進

- ① Library News の配信(月2回程度)、「図書館だより」の発行(年1回)、ポスターの掲示(行事ごと)を行った。
- ② 新入生を対象にした図書館ガイダンスを行った。
- ③ 図書館懸賞作品コンクール、図書館優秀利用者表彰を行った。
- ④ スタンプラリー、読書記録通帳を企画した。
- ⑤ セタ、クリスマスの飾り付けをして、図書館利用者にも参加してもらった。

## 2. 研究支援

- 1) 雑誌、電子ジャーナル、データベースの導入希望アンケートを実施して、図書館運営委員会で検討をした。
- 2) 学内紀要論文の編集に携わり、論文を広島県大学共同リポジトリで公開した。

## 3. 社会貢献

- 1) Hiroshima Active Library 協働事業に参加し、「オリンピックを知ろう」と題して展示を行った。

## 4. 管理運営

- 1) 図書館耐震改修工事を行った。(6月-10月)
- 2) 図書館運営委員会で令和元年度の土曜日開館を第1.3.5のみとし、試行で第2、4土曜日を閉館することを決めた。
- 3) 顧問税理士の指導を受け、除籍図書の長期計画を立てた。

## 1. 教育支援

### a) 学習環境

前年度から変更なし。

### b) 学習支援

主に学習支援センターが担当。

同センターが実施する LSC ドキュメンタリーアワーに伴う企画展示 4 回

### c) 情報リテラシー教育

#### ① 修大基礎講座（図書館活用法）

修大基礎講座の授業の中の 1 コマを図書館がサポートする形で、施設の利用方法や初歩的な検索方法を紹介した。この授業を 1 年次を対象に前期期間中全ての学科に実施した。

※「修大基礎講座」は、大学の学びに必要な学習スキルを習得すること等をねらいとして設置されている授業科目。

#### ② 文献検索ガイダンス

教員からの個別の要望に基づき、学生が適切な情報資源にたどり着けるようガイダンスを前期 44 回、後期 18 回実施した。

### d) その他

英語多読マラソン

学習支援センター、英語科目担当教員との連携による英語多読マラソンを実施した。

## 2. 研究支援

データベース講習会を前期 1 回、後期 1 回教職員及び学生を対象に実施した。

## 3. 社会貢献

### a) 展示・イベント

「明治 150 年」関連企画展示

・「明治と平成」（2 階展示コーナー、7/2～11/30）

・広島修道大学図書館所蔵「明治法曹文庫」貴重本の公開（M2 階展示ギャラリー、7/9～7/19、10/16～10/29）

### b) 公共図書館連携

2018 Hiroshima Active Library 協働事業に伴う企画展示

・スポーツの「チカラ」～スポーツってすばらしい（2 階ミニ展示コーナー、12/1～12/27）

### c) 学外利用者へのサービス提供

## 4. 管理運営

### a) 資料保存対策

マイクロ資料室に除湿器を設置（7/12～）

漢籍・和古書を中心とする資料の燻蒸処理（11/7～11/25）

## **1. 教育支援**

### **(a) 学修環境**

学生貸出用ノートパソコン 20 台を入れ替えることにより、学修環境を整備

### **(b) 学修支援**

ラーニング・アドバイザーによる個別学修支援の強化及び各種講座の充実

### **(c) 利用者サービス**

- ①ブックハンティング実施
- ②図書館ブログ毎日更新
- ③絵本専用の部屋のディスプレイ

### **(d) ガイダンス関係**

- ①「初年次セミナー」の授業時に、図書館見学ツアー及び図書館ガイダンス実施
- ②「図書館情報技術論」の授業時に図書館業務で使用している情報機器についての説明
- ③「図書館概論」の授業時に司書が教室で、図書館業務や経験について説明
- ④「学校図書館メディアの構成」の授業時に、入館ゲート、カメラモニター等の図書館メディアの説明や貸出・返却、ラベル貼り・糊つけ、タトル貼りの実務体験

## **2. 研究支援**

データベース「Academic Search Complete」・電子ジャーナル・電子書籍管理ツール「Full Text Finder」の業者による講習会の実施

## **3. 社会貢献**

- ①「よるのとしょかん」（ぬいぐるみの図書館お泊り会）実施（10/16・17）
- ②広島福祉専門学校の学生 14 名の保育・社会福祉士国家資格取得のため、OPAC 端末等図書館利用の説明及び閲覧の場の提供
- ③Hiroshima Active Library 協働事業による資料の展示

## **4. 管理運営**

- ①資料の除籍（狭隘化対策等のため）
- ②スイッチングハブを一部新規購入により、ネットワーク環境の改善

## 1. 教育支援

- ① 開館時間の延長  
宇品：平日の開館時間を 9：00-19：00 から 9：00-20：45 に変更  
西風：平日の開館時間を 9：00-19：00 から 9：00-21：30 に変更
- ② 実習用長期貸出（長期実習に出る学生を対象に、貸出期間を 2 週間から 4 週間に延長）
- ③ ガイダンスの実施（新入生・データベース等）
- ④ 講義・ゼミとの連携
  - ・ 課題関連本の展示等
  - ・ 卒業研究で公共図書館と連携するゼミについて、プレ展示の場として一角を提供
  - ・ 園芸療法受講学生と緑のカーテンを実施
- ⑤ ブックハンティングの実施（年 2 回）
- ⑥ イベントの開催  
各種コンテストを実施（読書感想文コンテスト・ビブリオバトル・イチオシ本 POP 大賞）  
夏休みの読書推進キャンペーンを実施  
資料の企画展示を実施  
ボランティア学生とクリスマスの飾りつけイベントを実施  
本の福袋として、ボランティア学生がセレクトしたテーマ別福袋を作成し貸出
- ⑦ 電子書籍の充実  
平成 30 年度私立大学等研究設備整備費等補助金の交付を受けて 49 タイトルを購入

## 2. 研究支援

- ① 講義資料の一部保管
- ② 学術機関リポジトリへのコンテンツ登録
- ③ 学内発行誌に DOI の付与

## 3. 社会貢献

- ① 大学祭にてビブリオバトルの開催
- ② オープンキャンパス時の開館
- ③ 広島市立中央図書館主催の Hiroshima Active Library 協働事業に参加（資料展示・講演会）
- ④ 職場体験の受入れ（広島市内公立中学 2 校）
- ⑤ 広島市立中央図書館との連携講座を実施（2 回）
- ⑥ 教育・文化週刊に合わせて認知症サポーター養成講座を実施（1 回）

## 4. 管理運営

- ① 廃棄予定の雑誌の譲渡会を実施
- ② 蔵書点検の実施

## 1. 教育支援

### a) 学習環境の整備

- ・延長開館・土曜半日開館継続(長束・阿賀)
- ・ノート PC の館内貸出継続。(長束・阿賀)

### b) ガイダンス

- ・文献検索ガイダンス(看護研究・看護実習向け)の実施。20 回 432 名
- ・初年次セミナー-図書館ガイダンス(新入生向け)の実施。

### c) 学内のアクティブ・ラーニング施設の利用促進

- ・ラーニングコモンズ利用回数 185 回 970 名(長束)、利用回数 127 回 830 名(阿賀)
- 開講講義数 48 回 300 人(坂)

### d) 電子リソースの強化

- ・ビジュランクラウド(医学・看護・健康映像配信サービス)の提供を開始

### e) 本に関わるイベント・展示の開催

- ・ブックハンティング実施(坂)。「本の福袋」イベントを学生参画で実施(長束)
- ・公開講座講師の著作展示を実施(阿賀)
- ・ホームカミングデーに来館した卒業生に、保育・幼児教育の雑誌譲渡
- ・豪雨新聞記事の掲示や関連書で災害看護・救急看護に即した展示を実施。

## 2. 研究支援

### a) 広島県大学共同リポジトリ(HARP)参加。紀要論文と修士論文の新規登録。

(コンテンツ累積:1,033 件)司書 2 名が勉強会に参加し登録スキルの OJT。

### b) データベースの横断検索(EBSCO host の契約による)

- ・CINAHL with Full Text, Psych Articles, Medline 等の横断一括検索を教員に配信広報。

### c) 音楽分野外国雑誌を製本(約500冊)し所蔵登録

## 3. 社会貢献

### a) 地域住民の方々への図書館開放。貸出人数 492 名 2,067 冊(長束)

### b) 地域の中学生就業体験受入。(各館 2 名)

### c) オープンコモンズ(地域の方と学ぶラーニングコモンズ)で、「文部科学省職業実践力育成プログラム(BP)」の認知症看護エキスパート養成 PG 実施。

### d) 公共図書館と大学図書館の「Hiroshima Active Library 事業」に参加し、テーマ「スポーツ」で共同展示を実施(長束・坂)

## 4. 管理運営

### a) 図書部会(4 キャンパス学部の図書館長 4 名)の開催(年 5 回)

### b) 除籍した過去の指定図書や重複図書を、教員に希望を募り譲渡。(長束・阿賀)

### c) 蔵書点検を実施。集密架資料と不明資料のデータ更新。楽譜約 8,000 点の分類

1. 教育支援

- a) 学修環境の整備 実習貸出、長期休業貸出、卒業論文作成のための長期貸出
- b) 各種講習会 授業（新入生全員）、ゼミ対象ガイダンス
- c) ブックハンティング実施（2回 費用：12万円）
- d) 知識の森（図書館利用促進イベント）
- e) 各種展示 特集コーナー：6回 新着図書展示：随時
- f) ラーニング・コンパス 設置資料の充実
- g) あらいぐま博士の『読んどる』（年2回） 読書推進

2. 研究支援

- a) 研究用図書の管理 研究室貸出資料の点検
- b) 機関リポジトリ 研究紀要の登録
- c) データベースの契約
- d) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供

3. 社会貢献

- a) 図書館の一般開放
- b) オープンキャンパス図書館イベント「クイズ」実施
- c) Hiroshima Active Library 展示実施「テーマ：スポーツと栄養」

4. 管理運営

- a) 蔵書点検（全館・研究室貸出資料・教室貸出資料）
- b) 校名変更に伴う規程の整備
- c) 除籍（図書 202冊）

## 1. 教育支援

- ・ラーニングcommons什器(椅子 10 脚、机 6 台)追加
- ・読書推進システムを構築、実施
- ・『新入生にすすめる 50 冊の本』刊行
- ・図書館学生ボランティアの活動支援  
Library News Vol. 10, 11 刊行  
読書会主催 3 回 (5/23、10/17、1/23)  
松永図書館見学  
「ワークショップ帯」補助  
第 8 回大学図書館学生協働交流シンポジウムへの参加(3 名)  
全国大学ビブリオバトル 2018 地区予選会開催補助  
学内ブックハンティング(第 3 回、第 4 回)開催補助
- ・全国大学ビブリオバトル 2018 中国 B ブロック地区決戦参加
- ・図書館ガイダンスの実施 (23 回、参加者 800 名)
- ・雑誌、論文の探し方ガイダンスの実施 (3 回、参加者 168 名)

## 2. 研究支援

- ・学内ブックハンティング開催 (全 2 回)
- ・データベース利用講習会開催  
EBSCOhost(Academic Search Premier / PsycINFO / PsycARTICLES) (2018/10/4)  
SciFinder (2018/10/23)
- ・学術情報リポジトリにより、研究成果を発信

## 3. 社会貢献

- ・地域住民へ図書館開放
- ・読書推進システムを近隣高校(4 校)で試行
- ・インターンシップ受入 (大成館中学校、松永高等学校)
- ・EU情報センター開放、大学祭にてEU関連クイズ実施

## 4. 管理運営

- ・図書館サーバーのリプレイス(クラウド型)実施、学内認証との連携を行う
- ・貴重書の修理を実施(2019. 3)
- ・貴重書保管庫 (湿度管理キャビネット導入(2019. 3))
- ・図書館倶楽部 (図書館学生ボランティア) ミーティングを週 1 回実施

1. 教育支援

a) 情報リテラシー教育

利用講習会 2 回

新入生必修授業の「平大入門ゼミ」にて「情報リテラシー教育」の担当

2. 研究支援

a) 学術情報リポジトリ

平成 30 年度より実施

コンテンツ登録件数 26 件

3. 社会貢献

a) イベント

哲学カフェ

平成 30 年度より実施

第 1 回 『正しい戦争はあるのか？ 戦争倫理学入門』（10 月 27 日）

第 2 回 『失われたドーナツの穴を求めて』（2 月 16 日）

4. 管理運営

a) 図書システムの変更

9 月 6 日より新規システムに移行

## 1. 教育支援

### a) 学習環境

- ・ 授業参考図書 の 充実
- ・ 選書キャンペーン(ブックハンティング)を夏季休業期間中に実施(6年目)
- ・ 完成年度に至るまで重点的に関連図書を購入  
(造形デザイン学科・ビジネス心理学科・国際観光ビジネス学科・看護学研究科)

### b) 利用者サービス

- ・ 図書館情報誌「Patio」(パティオ)発行(年4回)
- ・ 図書館利用・文献検索ガイダンスの実施
- ・ ラーニングコモンズ内での新着図書展示

## 2. 研究支援

- ・ 安田女子大学紀要の刊行
- ・ 学術リポジトリ公開(本学紀要のうち許諾があるものすべてを公開)
- ・ 研究分野(文系・理系)ごとに予算配当し研究用図書を購入

## 3. 社会貢献

- ・ 「2018HiroshimaActiveLibrary 協働事業」に展示参加
- ・ オープンキャンパスでの館内自由見学・スタンプラリーの実施

## 4. 管理運営

### a) 施設管理

- ・ 閲覧席一部リニューアル

### b) 資料保存対策

- ・ 貴重資料室の害虫調査<毎月>
- ・ 貴重資料室の害虫駆除<6月>
- ・ 対象資料の炭酸ガス燻蒸<8月>

### 1. 教育支援

- a) 学習支援・利用案内
  - ・新入生図書館利用説明会・館内見学
  - ・利用者講習会（①文献探索、データベースの使い方講習会（5月）、②SciFinder講習会（6月））
- b) 広報活動
  - ・学生選書の会（6月）、学外ブックハンティング（11月）、学内ブックハンティング（12月）で768冊選定
  - ・ブックリユースコーナー常設
  - ・企画展示（年7回）

### 2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル・データベース・電子書籍
  - ・電子書籍（Maruzen eBook Library）追加（434点）
- b) 工学部研究報告（No.52）、工学部紀要（No.48）発行（電子ジャーナル化）
- c) 学術情報リポジトリ

### 3. 社会貢献

- a) 学外者利用（閲覧・貸出）
- b) 地元中学校（高屋中学校）の職場体験受入
- c) 高等学校、企業、地元団体等の施設見学案内

### 4. 管理運営

- a) 図書館システム運用
  - ・学園資料取寄せサービス運用（平成29年3月開始、平成30年9月から全7キャンパス間（本部、農、医、生物理工、産業理工、九州短大、工））
- b) OPAC 端末更改（タブレットへ変更）
- c) AV 設備更改
- d) 蔵書点検実施

### 1. 教育支援

当校は全寮制であることから、学習の場と生活の場が一体となっている。学生・研修生等は授業等の課業を含め、起床から就寝まで決められた時間割で過ごしている。

このような状況にあって、学生・研修生等が自由な時間となる平日 19 時から 21 時 45 分までの閉館時間帯及び土、日、祝日の閉館日であっても図書館を利用することができるよう、平成 21 年度から 1 階の一部を自習あるいは読書の場として開放している。

また、読書に親しんでもらうための取組みとして、予算内という制約はあるが、学生・研修生等が読みたいと希望する新刊図書を平成 23 年度以降継続して購入し、閉館時間外の開放場所に配架している。

さらには、平成 28 年度から、「海上保安政策プログラム（大学院修士課程）」の当校への受入れが始まったことから、同プログラム所属の海外からの留学生に対し、蔵書検索等の支援を行っている。また、同年度から新聞記事データベースの利用を開始し、利用者は増加傾向にある。

### 2. 研究支援

平成 25 年 2 月から広島県大学共同リポジトリに参加しており、当校からは、主として海保大研究報告掲載の論文等を登録し、インターネット上で閲覧できるようにしている。平成 27 年 8 月から、リポジトリ掲載のすべてのコンテンツに DOI を付与し、研究支援を行っている。

また、研究用図書については、講座教官の希望に基づいて図書館で一括して購入発議、登録及び管理を実施している。

### 3. 社会貢献

図書館の 1 階を広く一般市民に開放しているほか、蔵書について、閲覧及び貸出等の希望に対応している。

特に、約 7,600 冊の貴重図書（旧海軍大学校図書等）及び約 7,800 冊の海洋法ライブラリー図書を所蔵管理しているが、それらに関する外部からの問い合わせ、閲覧・複写希望等への対応を実施している

### 4. 管理運営

特になし。

1. 教育支援

- ・開館時間 授業期間中 9：00～19：30
- ・フレッシュマンセミナーにて利用方法の説明
- ・参考図書の購入
- ・月1回の展示実施（作家・ジャンル別など）

2. 研究支援

- ・紀要の発刊と HP へのアップ
- ・山女図書館通信の月1回の発行と HP へのアップ
- ・図書委員会の開催で問題点検討

3. 社会貢献

- ・一般開放の継続実施（昨年度は外部来館者数 39名）
- ・大学祭で古本市実施（図書サークル）

4. 管理運営

- ・デスクサイドスクリーンの設置で、個人スペースの確保

#### 1. 教育支援

- ・ブックハンティングの実施（年 1 回） 購入図書を紹介文付きで展示
- ・教科書，学生希望図書，教職員推薦図書の購入
- ・読書感想文コンクールの開催（年 1 回）
- ・試験前～期間中の開館時間延長（21:00 閉館）と日祝日開館（10:00-17:00）
- ・利用学生に対する印刷用紙の無償提供
- ・図書館を利用した授業への協力

#### 2. 研究支援

- ・退職教員等の返却図書の整理
- ・『研究報告』誌の編集・発行（年 1 回）

#### 3. 社会貢献

- ・一般利用者への公開，利用証の発行（貸出）
- ・学校見学会での図書館イベントの開催

#### 4. 管理運営

- ・「図書だより」の発行（年 1 回）
- ・学生と協力した空間づくり。（インキュベーションワークで学生が制作した図書紹介ポップ、ポスター、写真同好会の写真の展示など）

1. 教育支援

新入生図書館オリエンテーション（3回 136名）

文献検索ガイダンス（6名）

校内作文・表現コンクール実施および優秀先品を『図書館だより』に掲載

『図書館だより』発行（2回）

2. 研究支援

研究紀要第 41 号の編集・発行

3. 社会貢献

学外の一般利用者への開放

地域の方を対象としたミニコンサート実施（12月8日 約60名）

4. 管理運営

本校 120 年史の編集・発行